

岐阜市を過ごしやすく優しい街に

市政報告

2022.
2月

現在の岐阜市の取組、令和4年度以降に向けた事業など、新しい岐阜市の動きをご紹介します。

REPORT

1

女の子と女性のための相談ステーション「あんしんつながりステーション」

気分が落ち込んだ時、孤独や不安を感じた時、一人で抱え込みそうになった時など、気軽に話をする事ができる「あんしんつながりステーション」が2022年2月28日まで開設されています。岐阜市在住・在勤・在学の女性を対象に、さまざまな角度から話を聞くことができる相談員が対応します。相談することで、少しでも楽になり、その人らしい生活ができるようにサポートをするステーションです。



落ち着いて話ができる雰囲気。



フードバンクが用意されている。



生活困窮者、ひきこもり、若者就労、DV等支援に取り組む各種団体と連携しています。

市内に3箇所あります

●岐阜駅東

岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエア-G1階
運営団体／岐阜市女性センター、
NPO法人あゆみだした女性と子どもの会

●柳ヶ瀬東

岐阜市美殿町40 矢沢ビル3階
運営団体／一般社団法人 サスティナブル・サポート

●長良

岐阜市八代3-27-8(NPO法人 仕事工房ポポロ内)
運営団体／一般社団法人 よりそいネットワークぎふ

REPORT

2

岐阜市移住・定住情報発信拠点「ココカラ」で岐阜市の情報と魅力を発信

岐阜市では持続可能で、選ばれるまちの実現に向けてさまざまな取組を行っています。さらに選ばれるまちになるようにと、2021年11月1日に、岐阜市移住・定住情報発信拠点「ココカラ」をカラフルタウン岐阜に開設し、岐阜市の情報と魅力を発信しています。

岐阜市のマップが手書きで描かれた黒板や岐阜市の風景を映した写真展、岐阜市に関するチラシやフリーペーパーなどが設置されています。岐阜市内にお住まいの人にとっては、岐阜市の良さを再発見できるブースになります。



常設の写真展では、観光スポット以外の魅力も伝えています。



岐阜市に移住して活躍している人へのインタビューパネル。

外観 (イメージ)

夜の闇に溶け込むような黒色で統一。船ごとに「闇の中に光る青白い月の光」「橙と緋色などのかがり火」「深い藍色の金華山」とテーマカラーが異なります。



内観 (イメージ)

快適なベンチシートを採用。鵜飼の場面によって明るさを調整できる間接照明などが設置されます。

長良川右岸の遊歩道「長良川プロムナード」では2022年4月以降、イベントやオープンカフェ、売店などの営業が可能になる見通しがあります。



REPORT

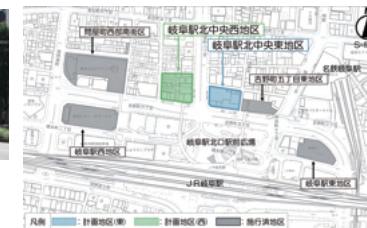
4

岐阜駅北中央西地区・岐阜駅北中央東地区の再開発が行われます

昨年3月に第1種市街地再開発事業の都市計画決定がされました。JR岐阜駅の正面に位置する岐阜駅北中央東及び中央西地区について、両地区の準備組合が事業参加者を公募し、提案の審査などが進められています。令和4年度には市街地再開発組合を設立し、令和7年度の工事着工を目指しています。岐阜都市圏の玄関口として、魅力ある市街地再開発が期待できます。



現在の様子



REPORT

3

長良川鵜飼観覧船の高級船が2022年に就航

2022年5月11日の鵜飼開きから、長良川鵜飼観覧船の木造高級船3隻が就航する予定です。いずれも貸切船で10人乗り1隻と15人乗り2隻、通常料金の約3倍で運行し、鵜飼事業の収支の改善を図ります。ベンチシートの採用や船内中央に通路を設けて靴のまま乗船可能になるなど、快適さももちあわせます。